



参加無料

みなとわくわく
ポイント対象



港区広報キャラクター
みなびい

藤前干潟生き物観察会（秋）

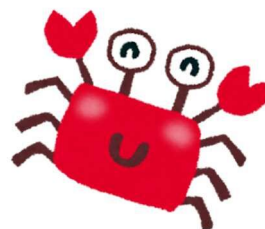
- ラムサール条約登録湿地である藤前干潟に入り、カニや貝など干潟にすむ生き物を間近で観察するイベントを開催します。
- 名古屋港の河口部に広がる国内有数の渡り鳥の中継地に実際に入ること、生物の多様性や干潟の水質浄化作用について学び、環境について考えてみませんか。

日 時： 令和7年9月6日（土）
午前9時30分～11時30分

場 所： 稲永ビジターセンター及び藤前干潟
（港区野跡4-11-2 稲永公園内）

定 員： 先着20名
（小学生以上、小学生は保護者同伴）

申込方法： 右の二次元コードを読み取り、
Logo フォームにて必要事項を入力



申し込みはこちら

申込期間： 8月12日(火)午前9時から8月29日(金)午後5時まで

問 合 先： 港区保健福祉センター公害対策課
電話：052-651-6493
メールアドレス：a6516471-06@minato.city.nagoya.lg.jp

そ の 他： 「みなとわくわくポイント事業」の
詳細は、右の二次元コードを読み取り、
港区公式ウェブサイトをご覧ください。



詳細はこちら
港区公式ウェブサイト



【当日の予定】

【晴天時】

9:20	受付開始
9:30	あいさつ 干潟に関するお話
9:50	干潟に移動、生き物観察
10:50	干潟から移動
11:00	生き物の解説
11:30	終了

【雨天時】

9:20	受付開始
9:30	あいさつ 干潟に関するお話
9:50	葦(ヨシ)を材料としたコースターづくり
10:50	終了

※ 荒天時、警報発令時など稲永ビジターセンターが閉館する場合は中止します。

【持ち物・服装など】

◎干潟に入るときの服装

- ・ 帽子
- ・ 薄手のパーカーなどの長袖
- ・ 汗拭き用の手ぬぐいなど
- ・ 長靴
- ・ 水筒
- ・ レインコート（少雨時に着用の場合あり）

◎カバンの中に入れておくもの

- ・ ハンカチ、ティッシュ
- ・ 着替え
- ・ 汚れたものを入れるビニール袋

◎持っておくといいもの

- ・ 日焼け止め
- ・ ばんそうこう、キズ薬など

当日の干潟の水位は低いので、足元はぬかるんでいる程度ですが、場所により、深い場所があります。



稲永ビジターセンターまでのアクセス



・ 公共交通機関

あおなみ線「野跡」駅下車、徒歩 15 分。または、地下鉄名港線「築地口」駅から市バス「野跡駅」下車、徒歩 15 分。

・ 自家用車

周辺には、3 か所無料駐車場があります。

①稲永公園中央駐車場（93 台）

②稲永公園野球場西駐車場（22 台）

③稲永公園南駐車場（219 台）（臨時駐車場（通常は施錠））
（稲永ビジターセンター専用の駐車場はありません。）

【引用元：環境省ウェブサイト (<https://chubu.env.go.jp/wildlife/fujimae/access/index.html>)】